



HIKVISION

NVR

Ver.3

クイックマニュアル

目次

1. はじめに	3
対応機種について	3
2. 接続方法	3
3. 電源の ON/OFF	7
3.1 起動前の準備	7
3.2 電源 起動操作	7
3.3 電源 停止操作	7
3.4 電源 計画停電の前に	8
4. 初回起動時のパスワード設定	9
5. セットアップウィザード	12
6. ライブ映像の閲覧と録画設定	20
6.1 ライブ画面操作	20
6.2 メインメニュー	24
6.3 NVR のネットワーク設定方法	26
6.4 録画映像条件設定	28
6.4 録画スケジュール設定（常時録画）	31
6.5 録画スケジュール設定（動体検知録画）	33
6.6 カメラ名称の変更	36
7. 録画映像の再生方法	37
8. 録画映像のエクスポート方法	40
8.1 記録した映像の出力	40
8.2 エクスポート映像の再生	43
9. 内蔵 POE ポートを使用しない場合のカメラ登録方法	48
9.1 概要	48

9.2 カメラ登録方法（例 NVR : DS-7608NI-E2/8P）	49
9.3 NVR でのカメラパスワード, IP アドレス設定	53
9.4 カメラパスワードの確認	56
10. GUID ファイルのエクスポートとパスワードリセット	57
10.1 GUID ファイルのエクスポート	57
10.2 GUID ファイルによるパスワードリセット	62
11. フリッカーが発生した場合の設定方法	65
11.1 NVR の IP アドレスを確認	65
11.2 ブラウザの操作	66

1. はじめに

この度は、HikVision NVR を導入頂き、誠にありがとうございます。本マニュアルは、NVR 購入後最初に行うセットアップ操作から普段よく使われる操作方法について記載しております。より詳細な設定をご使用になる場合は、詳細マニュアルをご覧くださいか、お買い上げ頂いた販売店にお問合せ下さい。

対応機種について

本書は DS-7604NI-E1/4P、DS-7604NI-K1/4P、DS-7608NI-E2/8P、DS-7608NI-K2/8P、DS-7716NI-E4/16P、DS-7716NI-K4/16P 等 PoE スイッチを内蔵した NVR について説明しています。

PoE スイッチを内蔵していない他の機種につきましては **2. 接続方法** の (2) 以降を参照ください。

2. 接続方法

(1) カメラとの接続①：内蔵 PoE ポートを使用した接続

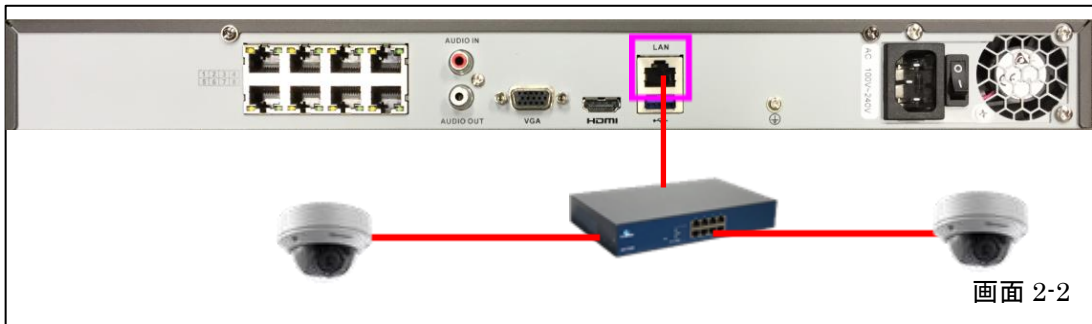


カメラと内蔵 PoE ポートを LAN ケーブル 1 本で **1 対 1** で直結します。

注：LAN ケーブルの最大長は 100m 以内として下さい。

注：このポートに HUB 等を接続しないで下さい。

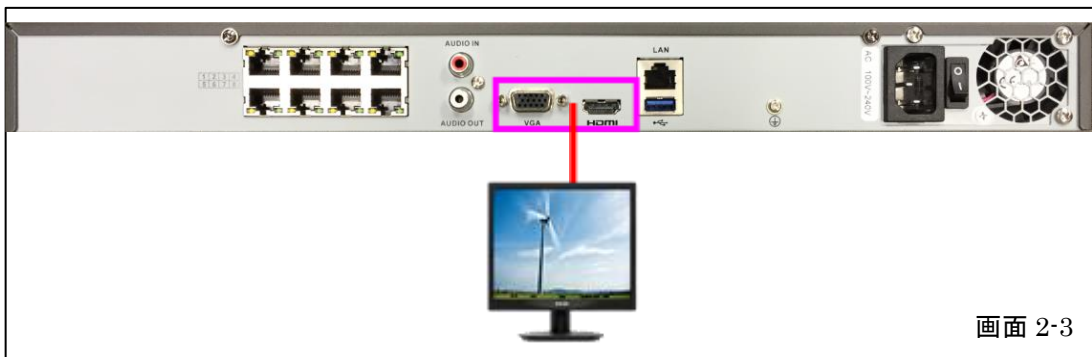
(2)カメラとの接続②：別途 PoE スイッチを使用した接続



レコーダーの LAN ポートから PoE スイッチ経由でカメラに接続します。この場合は、複数カメラを接続することが可能です。

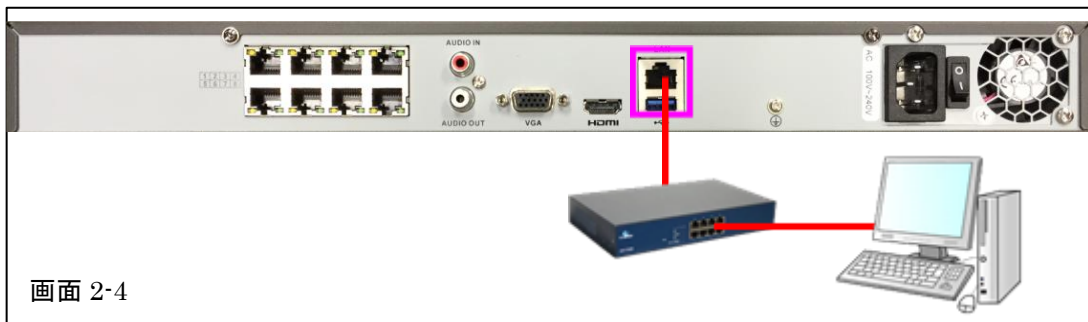
注：レコーダー～HUB 間は通常の LAN 接続ですが、HUB～カメラ間は PoE 給電が必要です。

(3)モニタとの接続



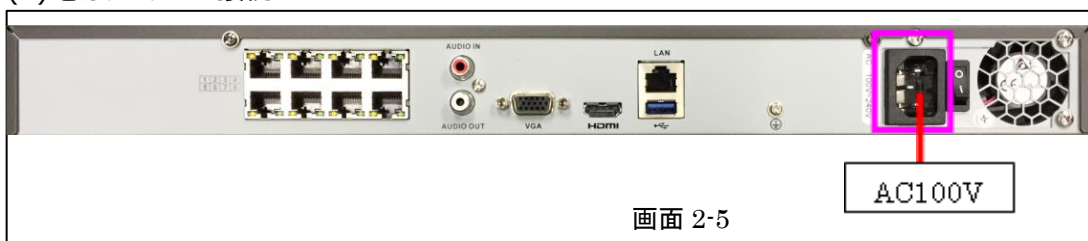
モニタとの接続は HDMI 又は VGA となります。排他使用となりますので、ご注意ください。

(4)PC、上位 LAN との接続



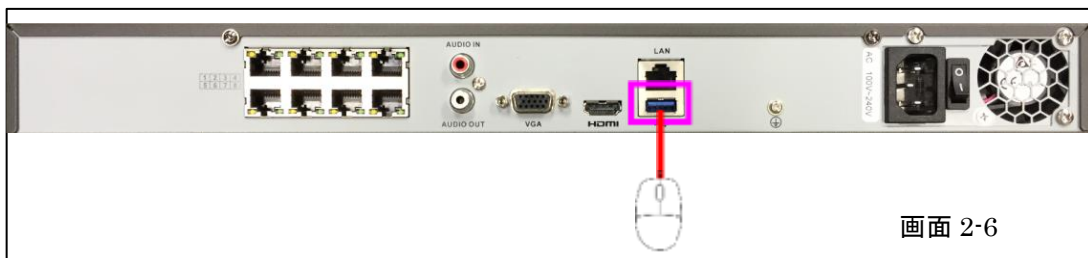
レコーダーの LAN ポートと PC を直結又は、HUB 経由で接続します。

(5)電源ケーブルの接続



付属の電源ケーブルを使用し、レコーダーに電源ケーブルを接続します。

(6)マウスの接続



操作は全て付属のマウスで、行うことができます。

注：USB ポートは本体前面にもございますが、映像の取り出しに USB メモリ等を接続するため、マウスは背面の USB ポートに接続することをお勧めいたします。



3. 電源の ON/OFF

3.1 起動前の準備

本機に USB マウスを接続します（USB マウスは本機に同梱されています）。
USB ポートは前面パネル（USB 2.0）と背面パネル（USB 3.0）にあります。
モニタを本機に接続します。お手元のモニタに適合したケーブル（VGA/HDMI/BNC）を背面パネルの各端子に接続します。モニタの電源ケーブル等を AC100V コンセントに接続し、モニタ電源を ON にします。

3.2 電源 起動操作

録画レコーダー本体の起動方法は、電源ケーブル（4ch は AC アダプタ+電源ケーブル）を接続した後、本体背面のスイッチを ON にすることにより起動します。



画面 3-1

注意：

AC アダプタ・電源ケーブルは必ず同梱品をご使用ください。

また、この AC アダプタ・電源ケーブルを他の機器で使用しないで下さい。

3.3 電源 停止操作

(1) メニュー内の「シャットダウン」を選択します。



画面 3-2

(2) 中央の「シャットダウン」を選択します。



画面 3-3

(3) 「YES」を選択します。



画面 3-4

(4) 画面に「電源スイッチをお切り下さい」と表示されたら本体背面のスイッチを OFF にします。

3.4 電源 計画停電の前に

- (1) 計画停電の前に 3.1 から 3.3 の手順で電源スイッチを OFF にします。
- (2) 電源ケーブルをコンセントから抜いておきます。

注意

シャットダウンの手順を踏まずに電源を OFF にすると、
故障に繋がる可能性があります。

4. 初回起動時のパスワード設定

初期起動時は下記画面が表示され NVR をアクティブにするためにユーザーが各自でパスワードを設定する必要があります。

注：パスワードを忘れると、録画や本機全般設定を行うためのメニューにログインできなくなります。忘れないように管理して下さい。



画面 4-1

入力画面にパスワードは表示されません。確認のため、同じパスワードを2度入力します。

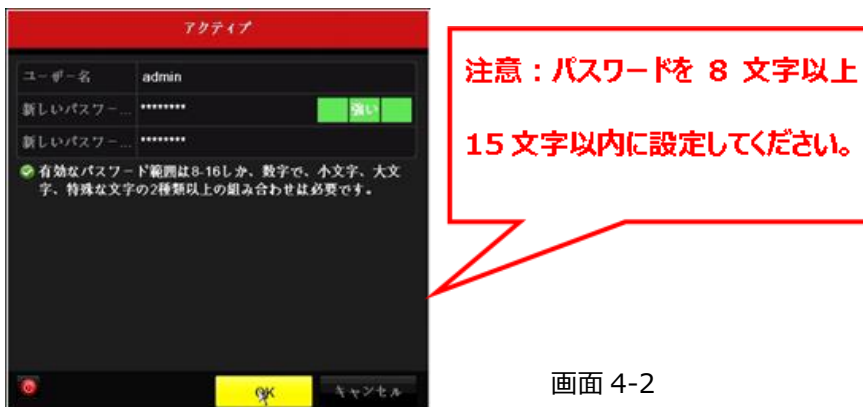
登録できるパスワード条件は次の通りです。

- ・ 文字数： 8 文字以上 15 文字以内
- ・ 組み合わせ： 数字、アルファベット（小文字／大文字）、記号文字の中から2種類以上

適切なパスワードが入力されると、パスワード入力欄右にあるインジケーターが緑「強い」と表示されます。

注：パスワードを忘れると、録画や本機全般設定を行うためのメニューにログインできなくなります。

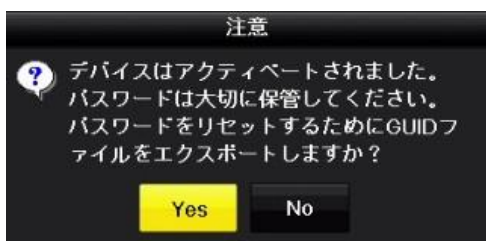
「弱い」や「中」のパスワードでも登録は可能ですが、不正アクセス防止のために「強い」のパスワードの設定を推奨します。



画面 4-2

パスワードの登録後 OK ボタンをクリックすると、画面 4-3 が表示されパスワードリセット用の GUID ファイルを保存する画面が表示されます。GUID ファイルを保存する場合は、USB メモリ等を本機 USB 端子に挿し込みます。保存する場合は Yes ボタンを、あとで保存する場合は No ボタンをクリックします。

GUID ファイルの保存方法は、9 章「GUID ファイルのエクスポートとパスワードリセット」を参照して下さい。(ファームウェアバージョンにより英語表記の場合もあります)



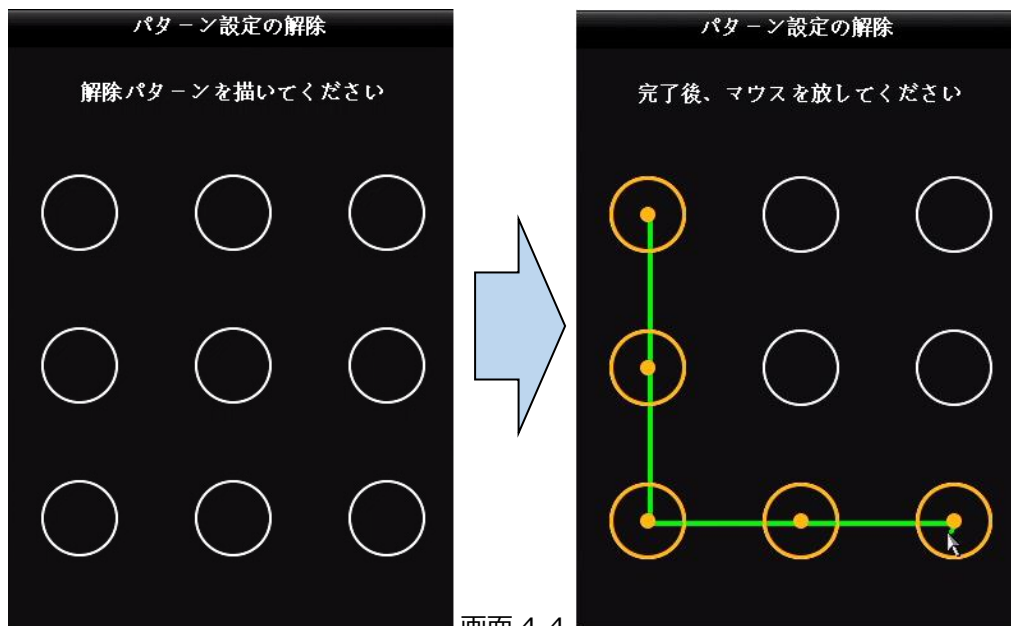
画面 4-3

注意

パスワードは絶対に忘れないでください。
本機にパスワードリセットスイッチはありません。

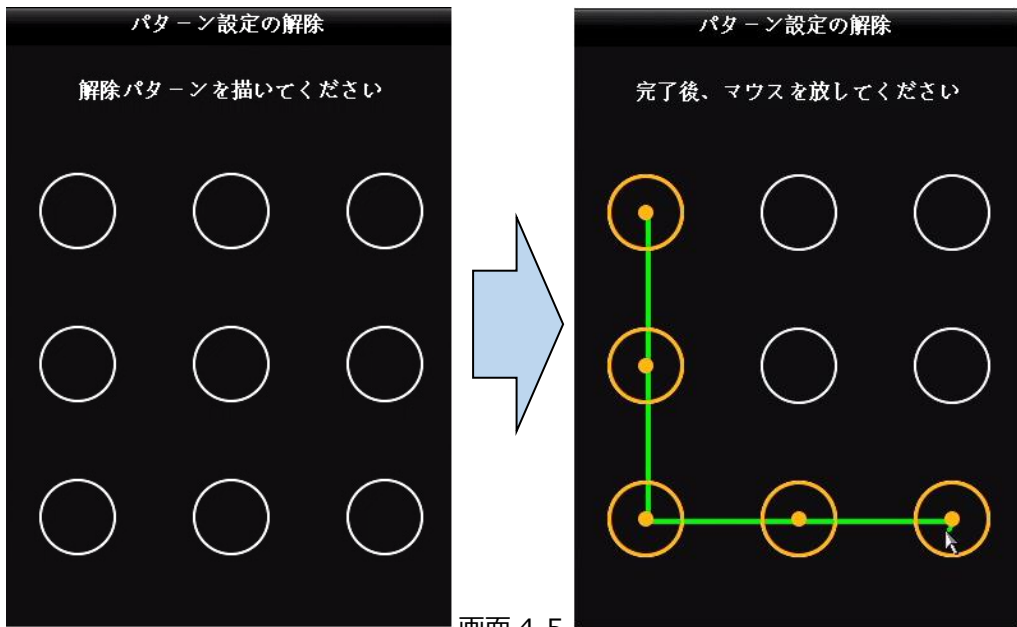
次に解除パターンを設定します。マウスでクリック&ドラッグしてパターンを決めます。

(最低 4 点必要)



画面 4-4

マウスをドロップする（ボタンを離す）と、確認の為に同じ画面が表示されますので、もう一度同じパターンを設定します。



画面 4-5

注：パスワードと解除パターン及び GUID ファイルのエクスポートは、初期設定完了後の設定モードにログインした後の、メニュー> 設定> ユーザー設定にある各ユーザーの編集でも操作可能です。



画面 4-6



画面 4-7

5. セットアップウィザード

ここではセットアップウィザードを使い、さまざまな初期設定を行います。

(1) 言語設定

システム言語（日本語）を選択し、「適用」ボタンをクリックします。



画面 5-1

(2) ウィザード設定

本機のシャットダウンや再起動を行った後で、再度本機が起動したときに再びこのセットアップウィザード画面を表示するかどうかの設定です。表示させる場合は、「システム起動時、ウィザードを開始する。」にチェックを入れます。



画面 5-2

- (3) タイムゾーン、日付の表示形式、システム（本機）の日付、システム時間を設定し、「次」ボタンをクリックします。日付の表示形式は、YYYY=年、MM=月、DD=日を表します。



画面 5-3

各項目は次の通り設定します。

- タイムゾーン：(GMT+09:00)東京、大阪、札幌、ソウル
- 日付の表示形式：YYYY-MM-DD
- システムの日付：現在の日付（項目右のカレンダーアイコンをクリックし設定します）
- システム時間：現在の時間（項目右の時計アイコンをクリックし設定します）

(4) ネットワーク設定

外部からの監視や PC を使用した監視行わない場合は、なにも設定せず「次」ボタンをクリックします。本機に IP アドレスを設定する必要がある場合は、各項目を設定し「次」ボタンをクリックします。



ウィザード	
NICタイプ	10M / 100M 自動調整
DHCP有効	<input checked="" type="checkbox"/>
IPv4アドレス	192.168.1.64
サブネットマスク	255.255.255.0
DGW	.
Enable DNS DHCP	<input checked="" type="checkbox"/>
優先DNSサーバ	.
代替DNSサーバ	.
前 次 終了	

画面 5-4

(5) Hik-Connect 設定

V3.4.92 からの新機能として、Hik-Connect 有効後に「検証コード」はお客様によって任意に設定するようになりました。Hik-Connect を使用しない場合は「有効」チェックを外してください。



ウィザード	
有効	<input type="checkbox"/>
アクセスタイプ	Hik-Connect
サーバアドレス	dev.sgp.hik-connect.com 
ストリーム暗号化有効	<input type="checkbox"/>
検証コード	.
ステータス	オフライン
前に 次に 終了	

画面 5-5

6桁の検証コードを作成します。



画面 5-6

ネットワークのアクセスを許可するため、チェックボックスにチェックをします。



画面 5-7

(6) ポート設定

ポートを変更しない場合は、なにも変更せず「次」ボタンをクリックします。

変更する場合は、各項目を設定し「次」ボタンをクリックします。

注：ポートは外部からの監視や PC を使用した監視を行う場合に必要な設定です。ポート番号を変更するとスマートフォンや PC からのアクセスに影響するため、特段変更を行う必要がない場合は初期設定のままご使用下さい。

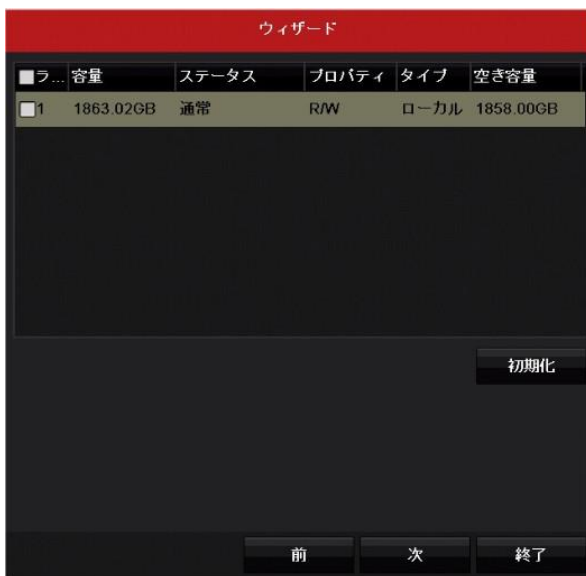
ウィザード	
サーバポート	8000
HTTPポート	80
RTSPポート	554
UPnP有効	<input type="checkbox"/>
DDNS有効	<input type="checkbox"/>
DDNSタイプ	DynDNS
エリア/国	カスタム
サーバアドレス	
ドメイン名	
ステータス	DDNS使用禁止
ユーザー名	
パスワード	<input type="password"/>
前 次 終了	

画面 5-8

(7) HDD 初期化設定

本機に内蔵されているハードディスクの初期化画面です。なにもせず「次」ボタンをクリックします。

注：初期化を行うと、録画された映像ファイルがすべて消去されます。初回起動時はハードディスクに映像ファイルはありませんが、2回目以降の起動時にハードディスクの初期化を行うとそれまでに録画された映像ファイルはすべて消去され復旧はできません。



画面 5-9

(8) IP カメラ追加設定

何も設定せず「次」ボタンをクリックします。

NVR 背面の内蔵 PoE ポートを使用する場合は、このリストにカメラは表示されません。



画面 5-10

(9) 録画設定

接続されているすべてのカメラを 24 時間 365 日常に録画する場合は、「スケジュール」アイコンをクリックします。画面 5-9 の通り「Yes」ボタンをクリックします。



画面 5-11

映像に動きがあるときだけ録画をする場合は、「動体検知録画」アイコンをクリックします。
画面 5-10 の通り「Yes」ボタンをクリックします。



画面 5-12

注：セットアップウィザードではカメラの解像度やフレームレートの設定はできません。

録画条件の設定は、7 章のライブ映像の閲覧と録画設定をご参照下さい。

最後に「OK」ボタンをクリックします。セットアップウィザードが終了します。

6. ライブ映像の閲覧と録画設定













セットアップウィザードが終了するとライブ画面が表示されます。運用開始前のさらなる設定や運用中における各種設定の変更は、設定モードにログインしてから行います。設定モードへのログイン画面は、ライブ画面でマウスの右クリックをし、次の表示される簡易メニューの中のメインメニューをクリックすると表示されます。

6.1 ライブ画面操作

ライブ画面の操作方法は、次の通りです。

(1) 簡易メニュー

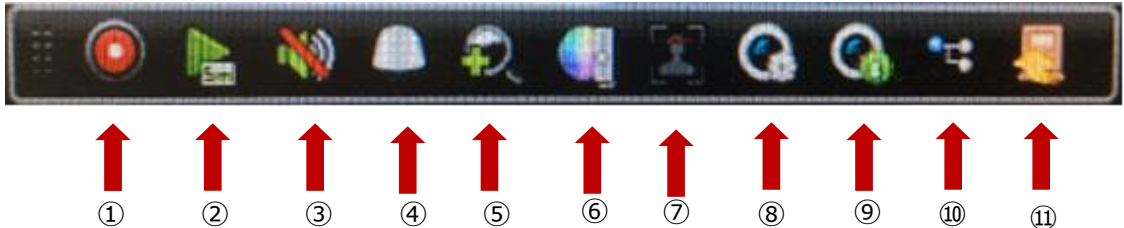
ライブ画面上でマウスを右クリックすると、簡易メニューが表示されます。

 メニュー	●	メニュー	: よく使われる設定メニューを表示
 メニュー	●	メニュー	: 設定モードへのログイン画面を表示
 一画面表示	●	一画面表示	: 選択したカメラの全画面表示
 分割表示	●	分割表示	: 表示分割レイアウトの変更
 前画面	●	前画面	: 選択されているカメラ番号の1つ前のカメラを表示
 次画面	●	次画面	: 選択されているカメラ番号の1つ後のカメラを表示
 オートスイッチ開始	●	オートスイッチ開始	: 画面の自動切替表示への切替
 録画開始	●	録画開始	: 全カメラで常時もしくは動体検知録画を一斉開始
 IPカメラ追加	●	IPカメラ追加	: IPカメラの追加設定画面表示
 再生	●	再生	: 再生画面を表示
 PTZコントロール	●	PTZコントロール	: パン・チルト・ズームを操作（可動式カメラのみ）
 出力モード	●	出力モード	: 輝度が異なる4つのモードを選択 (標準/明るさ/飽和/鮮やかさ)

画面 6-1

(2) クイック設定ツールバー

ライブ画面で表示されるカメラ映像上で左クリックするとクイック設定ツールバーが表示されます。クイック設定ツールバーは、よく使う機能がライブ画面上で操作ができます。



画面 6-2

クイック設定の説明

- ① 録画開始/録画停止 : 強制的に録画/停止操作（通常は使用しないで下さい）
- ② 簡易再生 : 直近の録画データ再生（5分以内）
- ③ オーディオ/ミュート : 音声のオン/オフ操作（使用できません）
- ④ PTZ 制御 : PTZ（パン・チルト・ズーム）の操作（可動式カメラのみ）
- ⑤ デジタルズーム : デジタルズーム操作
- ⑥ 映像調整 : 画像の輝度、コントラスト、彩度、色彩の設定
- ⑦ 顔検出 : 顔検出操作（使用できません）
- ⑧ ライブビュー描写 : ライブビュー描写の優先を設定
- ⑨ チャンネル情報 : カメラ情報の表示（フレームレート、ビットレート、解像度）
- ⑩ メイン/サブ切り替え : メインストリーム/サブストリームを切り替
- ⑪ 閉じる : クイック設定ツールバーの終了

(3) デジタルズームの操作

デジタルズームは、カメラの画面の一部領域を拡大して表示させる機能です。

簡易メニューもしくはクイック設定ツールバーからデジタルズームを選択します。選択されたカメラが全画面に拡大され、右下にデジタルズーム操作画面が表示されます。この操作画面内の赤枠をデジタルズームする領域にマウス操作で合わせると選択された領域が拡大して表示されます。

赤枠の操作はマウスのドラッグ操作（クリックしたまま移動）で拡大領域を変更します。

デジタルズームを終了するには、カメラ画面上で右クリックします。

- ①クイック設定のツールバーからデジタルズームをクリックしてください。

下の画像のように画面へ変更されます。



画面 6-3

②デジタルズームしたい場所にカーソルを移動し、マウスホイールを回すとズームします。



画面 6-4

③ズームした後で画面を移動する場合はドラッグで移動します。



画面 6-5

6.2 メインメニュー

ライブ画面上で右クリックし、メインメニュー（上から2つ目の）を選択します。



画面 6-6

ログイン画面が表示されます。登録した解除パターンもしくはパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックします。



画面 6-7

ログインが完了すると、画面 6-6 のメインメニュー画面が表示されます。



画面 6-8

メインメニューの各種設定は次の通りです。

- | | |
|---------|--|
| 再生 | : 録画映像の再生画面を表示 |
| エクスポート | : 録画ファイルの抽出（エクスポート）画面を表示 |
| VCA 検索 | : 画像解析機能の検索画面を表示 |
| 手動 | : 録画や画像キャプチャ、アラーム入力、映像品質診断を手動で管理する画面を表示 |
| HDD | : HDD 設定（状態）画面を表示 |
| 録画 | : 録画設定画面を表示 |
| カメラ | : カメラ設定画面を表示 |
| 設定 | : 時間やネットワーク等各種設定画面を表示 |
| メンテナンス | : 本機の稼働状態（システム情報・ログ検索）や初期化などのメンテナンス画面を表示 |
| シャットダウン | : ログアウト・再起動・シャットダウン画面の表示 |

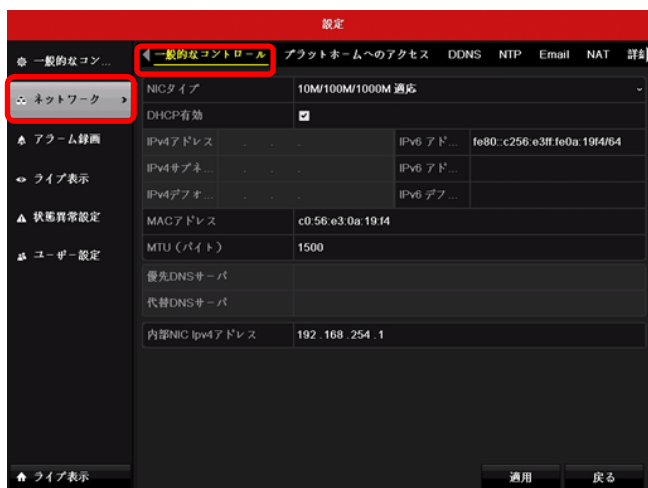
6.3 NVR のネットワーク設定方法

(1) メニュー画面より「設定」を選択します。



画面 6-9

(2) 左側メニューの「ネットワーク」→「一般的なコントロール」を選択します。



画面 6-10

(3) デフォルトでは「DHCP 有効」にチェックが入っております。

DHCP を利用しない場合はチェックを外してください。



画面 6-11

(4) IP アドレス・サブネットマスク等の手動設定を行って下さい。

また「内部 NIC IPv4 アドレス」とは、NVR 背面の内蔵 PoE ポート側の IP アドレスになります。内蔵 PoE ポートにプラグアンドプレイでカメラをつないでいる場合このセグメントの IP アドレスがカメラに付与されます。

注：NVR 本体と内部 NIC を同一セグメントにすることはできません。



画面 6-12

(5) 設定が終了しましたら「適用」をクリックしてください。

6.4 録画映像条件設定

録画条件を変更する場合は、次の操作を行います。

- (1) メインメニューより「録画」アイコンをクリックします。



画面 6-13

- (2) 左の「エンコードパラメータ」を選択します。



画面 6-14

(3) 解像度、フレームレートの設定を行います。(メインストリーム)

メインストリームは録画・1画面及び4分割のライブ表示の際に使用される映像です。



画面 6-15

- ① 解像度の設定項目です。プルダウンにて選択して下さい
- ② 映像の圧縮の度合いを指定します。高くするほど圧縮率が低くなり、画質は良くなりますがデータ量が増えます。
- ③ フレームレート (秒辺りのコマ数) ※一般的には 1~10 程度までを設定します。
- ④ 最大ビットレートを指定します。秒あたりのデータ量の上限を設定します。一般的には、⑤の数値の範囲内に設定します。
- ⑥ 動体検知やアラーム検知等の際の録画条件を設定します。特に使用しない場合は、(スケジュール)と同じ設定を入力して下さい。

入力が完了したら、「適用」ボタンを押して下さい。設定が反映されると、「適用」ボタンが押せなくなります。同様の設定を他のカメラにも適用するため、⑦でカメラを切り替えて下さい。

(4) 解像度、フレームレートの設定を行います。(サブストリーム)

サブストリームは4分割より多い分割画面のライブ表示の際に使用される映像です。画面上部①「Substream」を選択して下さい。

その他はメインストリームと同じ要領で各カメラに設定して下さい。

注:各レコーダーによって異なりますが、フレームレートはメインストリームと同程度を設定して下さい。



録画 Substream	
カメラ	[D1] Camera 01
ストリームタイプ	ビデオ
解像度 (Max 720P)	704*480(4CIF)
ビットレートタイプ	可変
画質	中
フレームレート	フルフレーム
最大ビットレート方式	一般的なコントロール
最大ビットレート (Kbps){...}	2048
最大ビットレート推奨範囲	1152~1920(Kbps)
ビデオエンコード	H.264

画面 6-16

注：メインストリーム、サブストリームとも、最大ビットレートの設定は注意して行って下さい。

レコーダーのモデルにより、最大ビットレートの合計値の許容範囲が決まっており、これを超えて設定された場合、ライブ映像が表示されない等の症状が発生するケースが御座います。

ライブ画面上に「No Resource」と表示されて、映像が出てこない場合は、ほぼ上記の理由です。メインストリーム、サブストリームの設定を見なおして下さい。

注：最大ビットレートの範囲は、⑤「推奨範囲」以下の設定も可能です。但し、この設定を行った場合、データ容量は少なくなりますが、ブロックノイズ等が発生し、本来の解像度の効果を発揮出来ない可能性がございますので、ご注意下さい。

6.4 録画スケジュール設定（常時録画）

常時録画を設定する場合は、次の操作を行います。

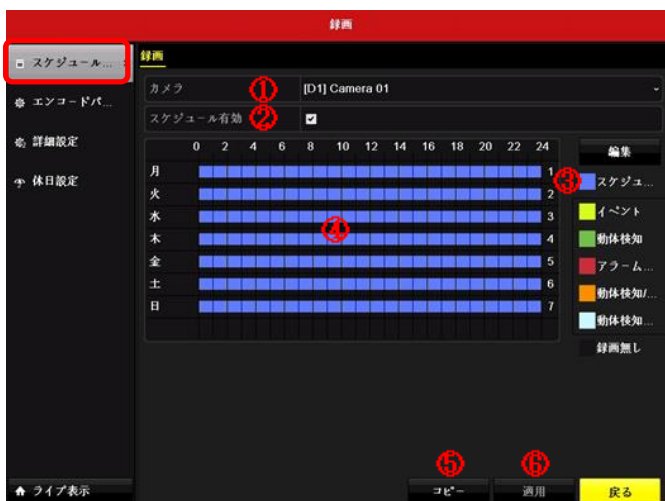
- (1) メインメニューより「録画」アイコンをクリックします。



画面 6-17

- (2) 「スケジュール設定」画面にて設定を行います。

- ① 設定するカメラを選択します。
- ② 「スケジュール有効」にチェックをします。
- ③ スケジュール録画をクリック（矢印がペンの形に変わる）
- ④ スケジュール範囲をドラッグで指定します。
- ⑤ 他のカメラに同じスケジュールを適用する場合は「コピー」をクリックして実施します。
- ⑥ 設定完了後、適用をクリックします。



画面 6-18

(3) 録画が開始されると、画面右上に赤のカチンコマークが表示されます。



画面 6-19

6.5 録画スケジュール設定（動体検知録画）

動体検知録画をする場合は、次の操作を行います。

- (1) メインメニューより「カメラ」アイコンをクリックします。



画面 6-20

- (2) 画面左側の「動体検知」をクリックします。



画面 6-21

- ① 設定するカメラを選択します。
- ② 「動体検知有効」にチェックします。
- ③ 必要に応じて処理方式を設定します。（動きを検知した際に NVR で音を鳴らす等の設定）
- ④ 感度を設定します。（左側が感度が低く右側が高い）
- ⑤ 検知範囲を全範囲に設定します。（範囲を限定する場合はドラッグで指定します）
- ⑥ 検知範囲をクリアする場合にクリックします。

⑦ 設定完了後、適用をクリックします。

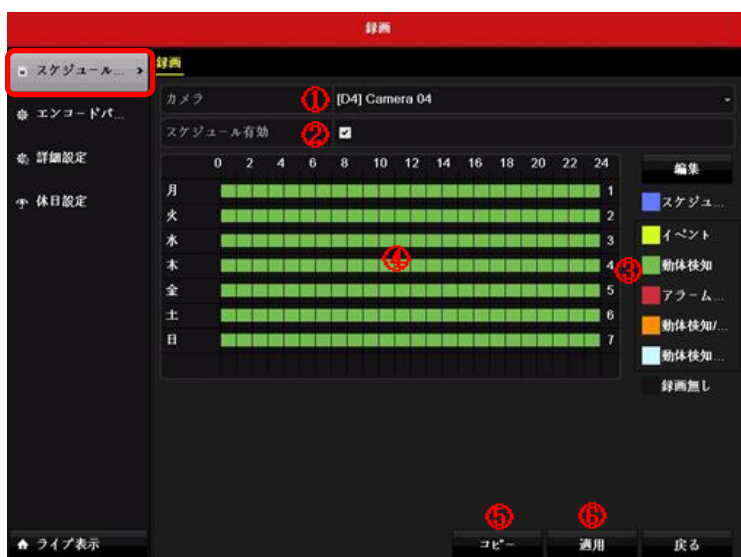
(3) メインメニューより「録画」アイコンをクリックします。



画面 6-22

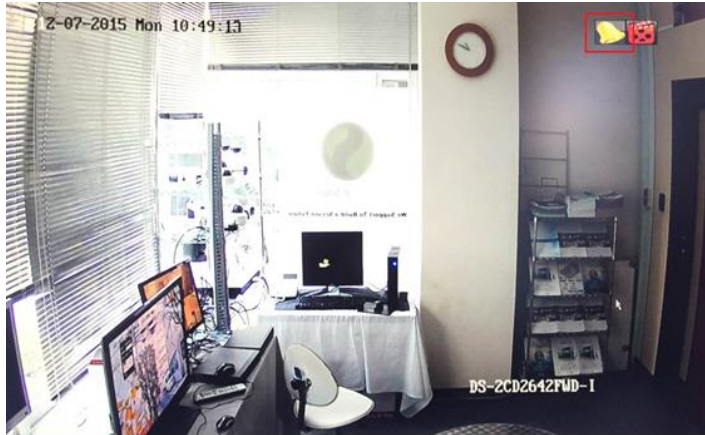
(4) 「スケジュール設定」画面にて設定を行います。

- ① 設定するカメラを選択します。
- ② 「スケジュール有効」にチェックをします。
- ③ 動体検知をクリック（矢印がペンの形に変わる）
- ④ スケジュール範囲をドラッグで指定します。
- ⑤ 他のカメラに同じスケジュールを適用する場合は「コピー」をクリックして実施します。
- ⑥ 「適用」ボタンをクリックし設定を反映します。以上で動体検知録画の設定は完了です。



画面 6-23

(5) 動体検知などのイベントが発生した際に、画面右上に黄色いベルマークが表示されます。



画面 6-24

6.6 カメラ名称の変更

カメラ名称または表示内容を変更する場合は、次の操作を行います。

- (1) メインメニューより「カメラ」アイコンをクリックします。



画面 6-25

- (2) 画面左側の「OSD」をクリックします。



画面 6-26

- ① 設定するカメラを選択します。
- ② カメラの名称を入力します。(英数字)
- ③ 日付、時刻、曜日、名称の表示を ON/OFF します。
- ④ 年月日と時刻の記載方法を選択します。
- ⑤ 文字の透明/不透明、点滅/点灯を選択します。これは画面上の文字を表示する際、見やすくするため、色を自動的に変える機能です。

(3) 「適用」ボタンをクリックし設定を反映します。以上でカメラ名称の変更は完了です。

7. 録画映像の再生方法

録画映像を再生する場合は、次の操作を行います。

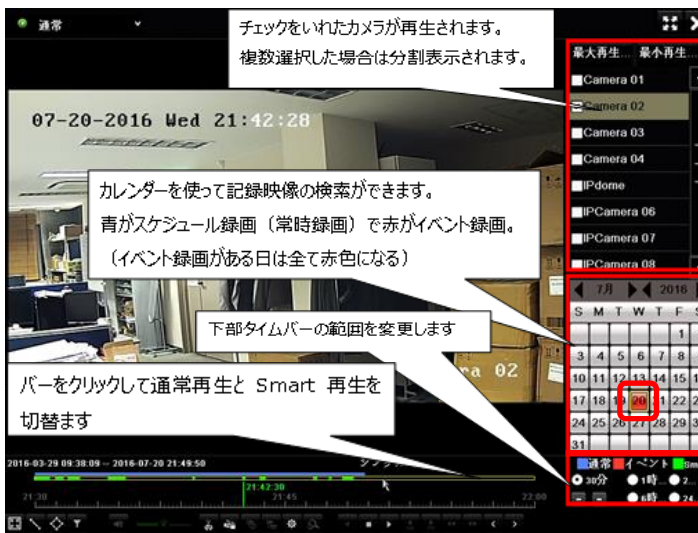
(1) 簡易メニューから「再生」をクリックします。またはメインメニューから「再生」アイコンをクリックします。



画面 7-1a

画面 7-1b

(2) 再生画面が表示されます。



画面 7-2

(3) 画面 7-3 は再生画面下部にある再生パネルの説明です。

◆再生パネル説明



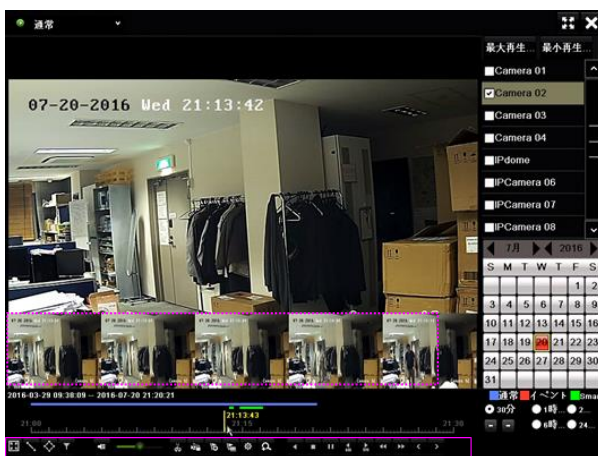
① ② ③④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑳㉑

画面 7-3a

- ①フルスクリーン検出
- ②通過検知線を描写
- ③検知領域描写
- ④顔検知用フィルタ
- ⑤オーディオ/ミュートの切替 : 録音をしているカメラがある場合の再生音声の消音ボタンです。
- ⑥音量調節 : 録音をしているカメラがある場合に再生音量の調整を行います。
- ⑦クリッピング開始/停止 (切り取りの開始) : 録画映像の切り取り操作 (クリッピング) です。切り取った映像は USB メモリ等にエクスポートできます。
- ⑧ファイルロック
- ⑨タグの追加
- ⑩カスタムタグの追加
- ⑪ファイル管理 : 切り取った録画映像を USB メモリ等へエクスポートする画面に切り替わります。
- ⑫デジタルズーム : 再生映像でデジタルズームを行う際に使用します。
- ⑬逆再生 : (使用できません)
- ⑭停止 : 再生映像を非表示にします。
- ⑮一時停止/再生 : 録画映像の再生中に一時停止をします。また一時停止中に再生を再開します。
- ⑯30 秒巻き戻し : 再生を 30 秒前の映像に巻き戻します。
- ⑰30 秒早送り : 再生を 30 秒後の映像に早送りします。

- ⑱再生速度スピードダウン : 再生速度を遅くします (1/2 倍速 / 1/4 倍速 / 1/8 倍速)。
- ⑲ 再生速度スピードアップ : 再生速度を早くします (最高 4 倍速)
- ⑳ 前日へ移動 : 再生する日を翌日にします。
- ㉑ 翌日へ移動 : 再生する日を前日にします。

(4) 一画面再生中にタイムバーにカーソルを移動すると、再生画面下部にカーソル位置 5 秒間隔のサムネイルが表示されます。サムネイルをクリックするとその時間にジャンプします。



画面 7-3a

8. 録画映像のエクスポート方法

8.1 記録した映像の出力

本機に録画した映像を抽出（エクスポート）する場合は、次の操作を行います。

- (1) USB 接続式の外部記憶媒体（以下、USB メモリ等）を用意します。
- (2) 本機の USB 端子に USB メモリ等を挿し込みます。
注：USB 機器の対応フォーマットは、FAT/FAT32/NTFS です。exFAT は未対応です。

- (3) ライブビュー上で右クリックし、「メニュー（上から 2 番目）」をクリックします。



画面 8-1

- (4) メインメニューより「エクスポート」アイコンをクリックします。



画面 8-2

- (5) エクスポートするカメラにチェックを入れ、エクスポート期間（開始時間と終了時間）を指定し、「検索」ボタンをクリックします。



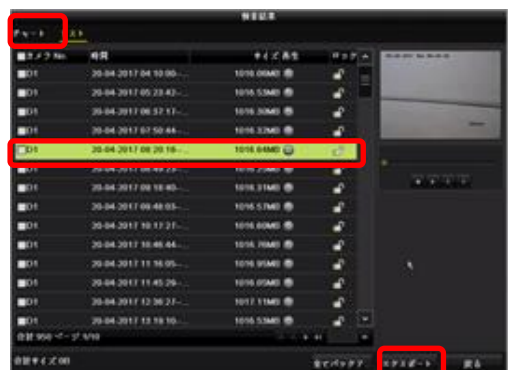
画面 8-3

- (6) 検索結果が表示されます。
- ・チャート： 映像ファイルごとのサムネール（画像）表示
 - ・リスト： 映像ファイルごとのリスト表示
- エクスポートする映像ファイルにチェックを入れます。



チャート画面

画面 8-4a



リスト画面

画面 8-4b

- (6) 本機に差し込んだ USB メモリ等を保存場所として指定します。



画面 8-5

注：本機に USB メモリ等が差し込まれていない場合、保存場所指定画面は表示されません。

- (7) 「エクスポート」ボタンをクリックします。(別画面が表示されます)

次の 3 つの中から 1 つを選択し、「OK」ボタンをクリックするとエクスポートが開始します。
通常は真ん中の映像とプレーヤー (Video and Player) を選択します。

- ・映像とログ : 選択した映像ファイルとログファイルをエクスポートします。
- ・映像とプレーヤー : 選択した映像ファイルと再生プレーヤーをエクスポートします。
(Video and Player)
- ・プレーヤー (Player) : 再生プレーヤーのみエクスポートします。



エクスポート進捗画面



エクスポート完了画面

注：E シリーズの NVR から「Player」はエクスポートできません。NVR 付属の CD に入っています。

注：フォルダを作成してエクスポートしたファイルを管理しやすくする事をお勧めします。

- (8) エクスポートの完了後、本機から USB メモリ等を取り外します。
戻る/戻る/戻る/終了の順に画面を閉じ、ライブビューに戻ります。
以上で録画映像のエクスポートは完了です。

8.2 エクスポート映像の再生

- (1) パソコンにエクスポート映像を保存した USB メモリ等を接続し、保存フォルダを開きます。
NVR 付属の CD からメディアプレイヤー（VSPlayer）を起動してください。



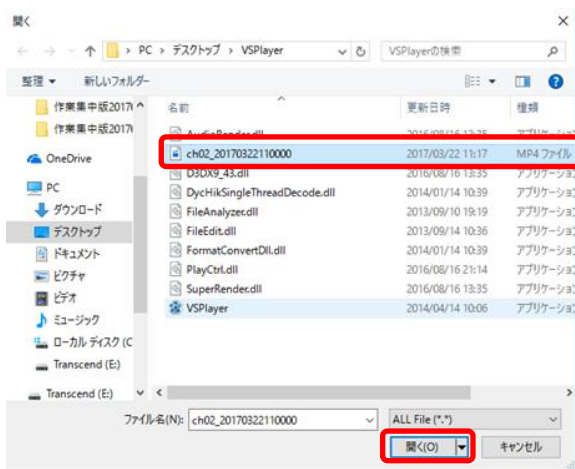
プレイヤー アイコン

※ 映像ファイルは「mp4」形式でエクスポートされます。専用のメディアプレイヤー以外でも「mp4」の動画ファイルを再生できるソフトであれば再生することが可能です。

- (2) プレーヤーの起動後、右下のファイルアイコンをクリックします。



- (3) 保存したフォルダを開き、エクスポートした映像ファイルの選択後、「開く」ボタンをクリックします。



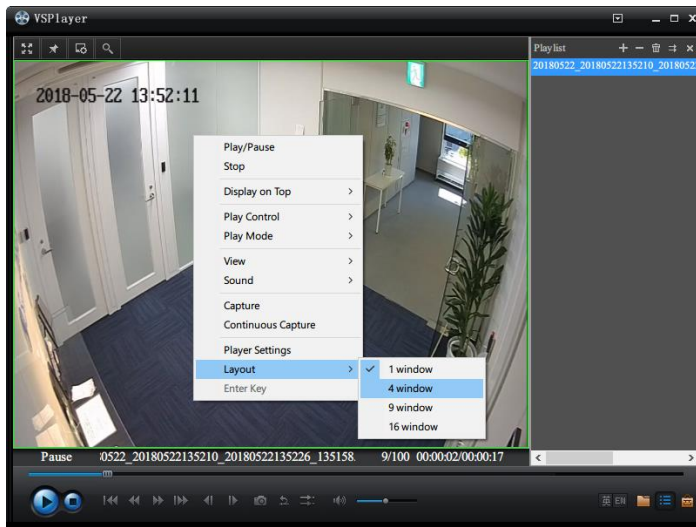
- (4) エクスポートした映像が表示されます。
操作パネルから再生を行います。



- ① 再生又は一時停止
- ② 停止
- ③ 抽出像の最初へ移動
- ④ 再生速度スピードダウン (最高 1/16 倍速)
- ⑤ 再生速度スピードアップ (最高 16 倍速)
- ⑥ 抽出映像の最後へ移動
- ⑦ コマ戻し
- ⑧ コマ送り
- ⑨ ナップショット取得
- ⑩ 逆再生
- ⑪ 複数再生用設定コマンド
- ⑫ オーディオ/ミュートの切替 (使用できません)
- ⑬ 音量調節

(5) 再生画面の上で右クリックするとメニューが表示され、Layout にマウスのポインタを当てると、分割画面の選択メニューが表示されます。

1 分割 / 4 分割 / 9 分割 / 16 分割の中から選択します。



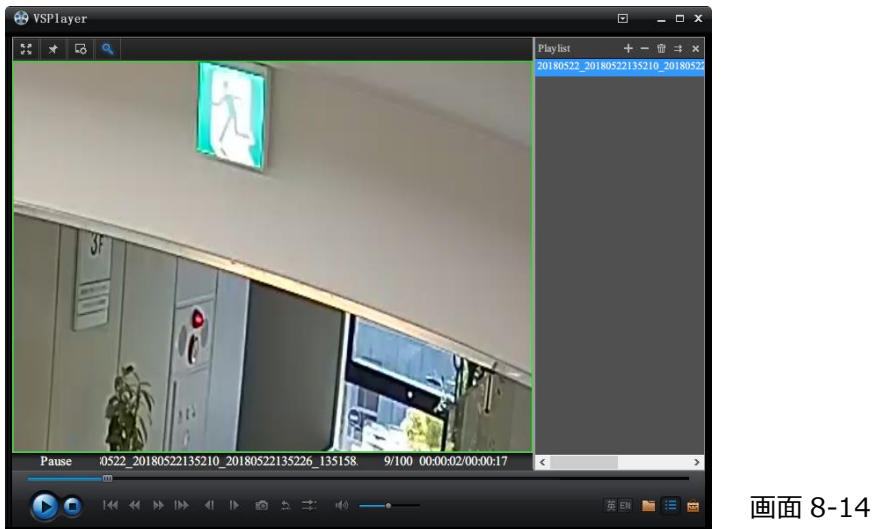
画面 8-12


(6) デジタルズーム操作方法



※拡大方向の調整は、クリックしながらマウスを動かします。

画面拡大（デジタルズーム）状況



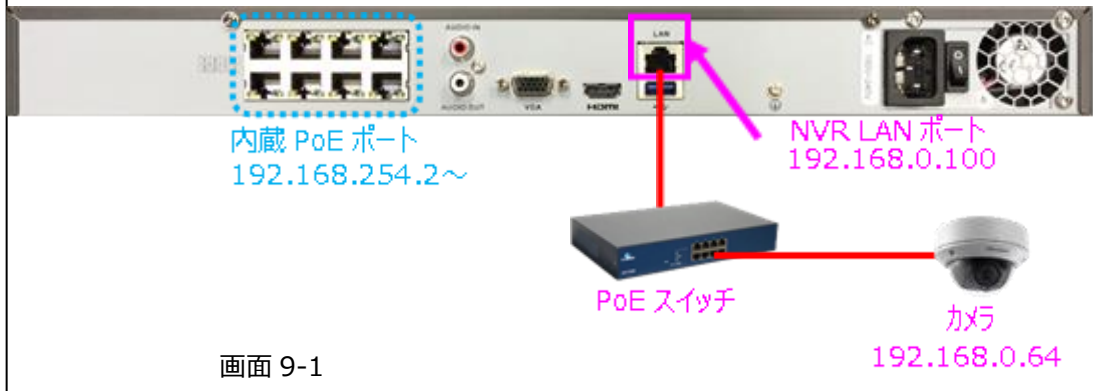
デジタルズームを終了する場合は、もう一度  をクリックします。

9. 内蔵 PoE ポートを使用しない場合のカメラ登録方法

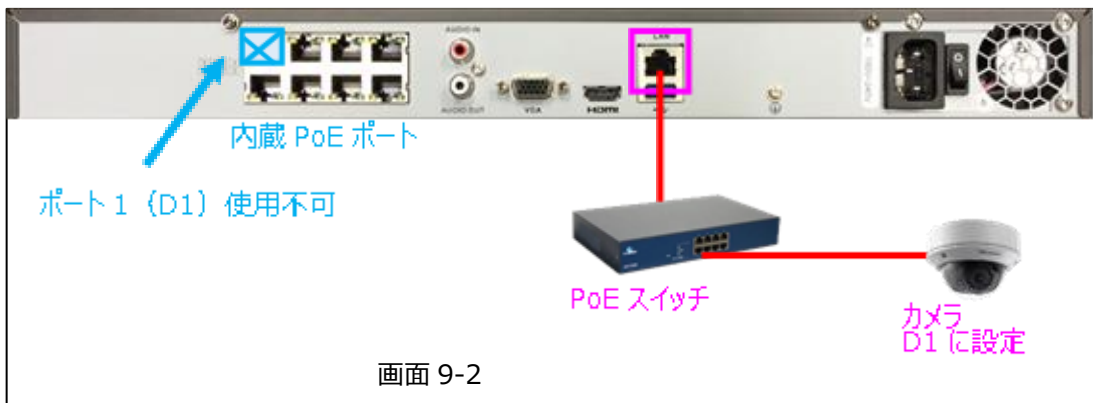
9.1 概要

HikVision の NVR は背面の内蔵 PoE ポートにカメラを接続する構成とは別に、下記構成のように同一ネットワーク内の PoE スイッチに接続したカメラを登録することも可能です。

例. DS-7608NI-E2/8 P



内蔵 PoE との混在も可能ですが、外部の PoE スイッチに接続されているカメラを登録したチャンネルに対応した内蔵 PoE ポートは使用できません。(D1 に登録した場合は内蔵 PoE ポートの 1 は使用できません)



9.2 カメラ登録方法（例 NVR : DS-7608NI-E2/8P）

- (1) NVR のメニュー> 設定> ネットワーク にて、LAN ポートに固定 IP アドレスを割り当てる場合は設定を行い、DHCP で使用する場合は自動で割り当てられる IP アドレスを確認します。
 (例では NVR の IP アドレスは「192.168.0.100」に設定しています)



画面 9-3

- (2) NVR と同じネットワークに接続する前に、カメラにブラウザで直接アクセス、もしくは SADP (HikVision のツール) でパスワード (カメラのアクティブ) と IP アドレス (NVR と同じセグメント) を設定します。(注) (例ではカメラの IP アドレスは「192.168.0.64」に設定しています)

注: HikVision のカメラであれば、次項 (3) のカメラ管理画面でも初期出荷状態のカメラに対してパスワード (カメラのアクティブ) と IP アドレスの変更を行う事は可能です。(IP アドレスとサブネットマスクは変更できませんが、デフォルトゲートウェイはここでは変更できません。操作方法は後述の、「3. NVR でのカメラパスワード、IP アドレス設定」を参照ください)

ただし、HikVision のカメラは初期出荷状態の場合 IP アドレスは全て「192.168.1.64」になっていますので、複数台を同時に接続するとネットワーク内で IP アドレスの重複が起こりますのでご注意ください。

また、初期出荷状態のカメラ複数台を同時に接続した状態で登録する場合は、シリアル番号を事前に控えておかないと、下記のように設定しているのがどのカメラなのか登録して映像を表示するまでわかりません。



画面 9-4

上記より、複数台のカメラを登録する場合は事前に (2) の方法で設定する事を推奨いたします。

(3) カメラと NVR を同じネットワークに接続すると、NVR のメニュー→カメラ にて下記の様に表示されます。(下記の D1～D4 はプラグアンドプレイで接続済み)




画面 9-5

(4) 登録するカメラ No. (下記例では D5) の編集をクリックします。(注)



画面 9-6

注：内蔵 PoE ポートが搭載されている NVR (DS-7604NI-E1/4P, DS-7608NI-E2/8P, DS-7716NI-E4/16P, DS-7604NI-K1/4P, DS-7608NI-K2/8P, DS-7716NI-K4/16P) の場合は、既にカメラ台数分チャンネルリストが用意されている為 (D1～D16 等)、リスト上の  アイコンによる追加や右下の「ワンタッチ追加」「手動で追加する」ボタンによるカメラの追加は出来ません。

(5) メソッド追加（接続方法）を「プラグアンドプレイ」から「手動」に変更します。



画面 9-7

(6) 各項目が変更できるようになるので、IP アドレス欄に、カメラに設定されている IP アドレスを入力します。



画面 9-8

(7) 管理者パスワード欄にカメラに設定したパスワードを入力して OK ボタンをクリックします。



画面 9-9

(8) カメラが接続した事を確認して登録完了。



画面 9-10

9.3 NVR でのカメラパスワード、IP アドレス設定

- (1) 初期出荷状態のカメラを外部の PoE スイッチ経由で NVR に接続した場合、NVR のメニュー > カメラを開くと下記の様に表示されます。「未アクティブ」の表示はカメラにパスワードが設定されていない事を表します。



画面 9-11

- (2) 「未アクティブ」をクリックするとカメラのパスワードを設定する画面が表示されます。

NVR と同じパスワードを設定する場合は「管理員パスワード使用」にチェックを入れて OK ボタンをクリックします。



画面 9-12

(3) カメラにパスワードが設定されて表示が「アクティブ」に変わった事を確認します。



画面 9-13

(4) 次に「編集」をクリックするとカメラの IP アドレスとサブネットマスクを変更する画面が表示されます。



画面 9-14

- (5) IP アドレス・サブネットマスクを変更し、管理者パスワードを入力してから OK ボタンをクリックします。



画面 9-15

- (6) IP アドレスが変更されたことを確認します。



画面 9-16

9.4 カメラパスワードの確認

- (1) メニュー上部の「IP チャンネルパスワード表示」チェックボックスにチェックを入れると権限確認画面が表示されて admin ユーザーのパスワードの入力を求められます。



画面 9-17

- (2) パスワードを入力すると「セキュリティ」の項目だったところが「パスワード」に変わり、設定されているパスワードを表示・確認する事が出来ます。(プラグアンドプレイで接続しているカメラは基本的に NVR と同じパスワードが設定されています)



画面 9-18

10. GUID ファイルのエクスポートとパスワードリセット

ログインパスワードを設定した後、“GUID”ファイルを USB メモリ等にエクスポートしておくことで、パスワードを忘れてしまった場合でも、このファイルをインポートすることでパスワードの再登録を行うことができます。

注：一度エクスポートした GUID ファイルはユーザーパスワードを変更するまで使用できます。パスワード変更後は新しい GUID ファイルをエクスポートして下さい。同じパスワードを再登録した場合でも古い GUID は使用できなくなるため、新しい GUID ファイルをエクスポートする必要があります。

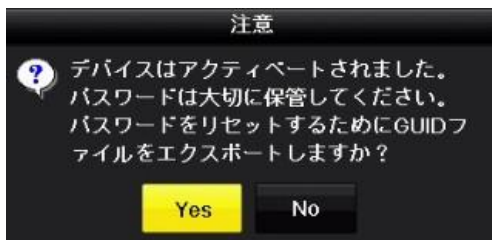
10.1 GUID ファイルのエクスポート

GUID ファイルのエクスポートは、次の 3 つの方法があります。

- (1) 本機をはじめて起動した際のパスワード設定直後でエクスポート
- (2) 2 回目以降に起動した際のウィザード画面でエクスポート
- (3) メインメニューのユーザー設定でエクスポート

(1) 初回起動時のエクスポート

- ① GUID ファイルを保存するために USB メモリ等を本機の USB 端子に差し込みます。
- ② パスワードを設定し「OK」ボタンをクリックすると、画面 9-1 が表示されます。「Yes」ボタンをクリックします。



画面 10-1

- ③ GUID ファイルの保存場所を指定し、「エクスポート」ボタンをクリックします。



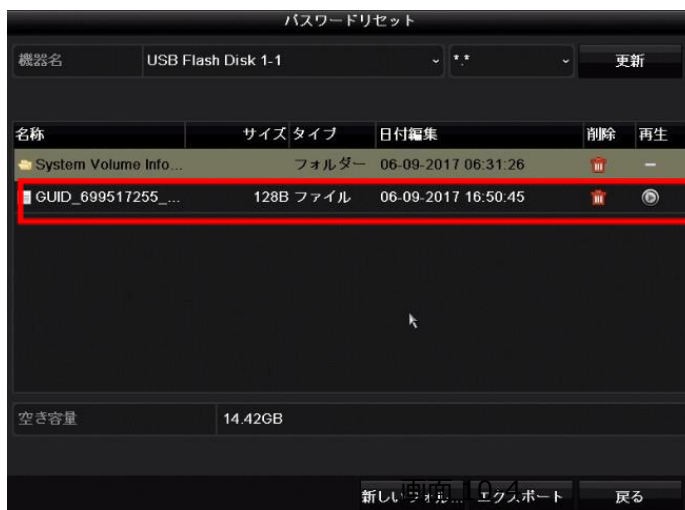
画面 10-2

- ④ GUID ファイルのエクスポートが完了すると、画面 9-3 が表示されます。「OK」ボタンをクリックします。



画面 10-3

- ⑤ 画面 9-4 のように、USB メモリ等に GUID ファイルが生成されていることを確認します。

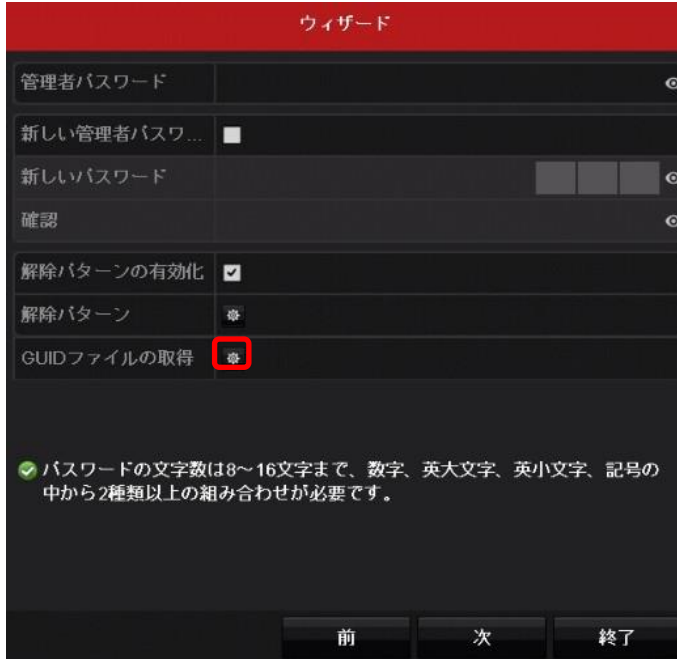




(2) 2 回目以降の起動時にエクスポート

メインメニュー／設定の「ウィザード有効」にチェックが入っている場合、本機再起動後にウィザード画面が表示されます。このウィザード画面で GUID ファイルをエクスポートすることができます。画面 9-5 で、管理者パスワードを入力し、「GUID ファイルの取得」ボタンをクリックします。

注：GUID ファイルの取得ボタンをクリックした後の操作は、(1)初回起動時のエクスポートと同様です。



ウィザード	
管理者パスワード	<input type="password"/>
新しい管理者パスワ...	<input type="checkbox"/>
新しいパスワード	<input type="password"/>
確認	<input type="password"/>
解除パターンの有効化	<input checked="" type="checkbox"/>
解除パターン	<input type="text"/>
GUIDファイルの取得	<input type="button" value="🔍"/>

✔ パスワードの文字数は8～16文字まで、数字、英大文字、英小文字、記号の中から2種類以上の組み合わせが必要です。

前 次 終了

画面 10-5

(3) ユーザー設定画面でのエクスポート

メニュー> 設定> ユーザー設定を開き、GUID ファイルをエクスポートする該当ユーザーの「編集」ボタンをクリックします。次に現在のパスワード欄に現在使用しているパスワードを入力し、「GUID ファイルの取得」ボタンをクリックします。

注：GUID ファイルの取得ボタンをクリックした後の操作は、(1)初回起動時のエクスポートと同様です。



画面 10-6

10.2 GUID ファイルによるパスワードリセット

ログインパスワードを忘れた場合、USB メモリ等に保存した GUID ファイルを使用してパスワードをリセット（パスワードの再登録）することができます。

- (1) GUID ファイルが保存されている USB メモリ等を本機の USB 端子に差し込みます。ログイン画面を表示し、左下の「パスワードを忘れた場合」をクリックします。



画面 10-7

- (2) GUID ファイルが保存されているフォルダを開き、GUID ファイルを選択します。「インポート」ボタンをクリックします。



画面 10-8

- (3) パスワードリセット（再設定）画面が表示されます。新しいパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックします。



画面 10-9

- (4) パスワードをリセットしたことでそれまでの GUID ファイルは無効になります。続いて新しい GUID ファイルをエクスポートするメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。



画面 10-10

- (5) 「プラグアンドプレイ」で接続されているカメラのパスワードを、変更した NVR のパスワードと同じにする旨のメッセージが表示されるので Yes ボタンをクリックします。（ここで No をクリックするとカメラは古いパスワード、NVR は新しいパスワードの為プラグアンドプレイで接続できなくなります）



画面 10-11

- (6) 以上で GUID ファイルによるパスワードリセット操作は完了ですが、忘れずに再度新しい「GUID」をエクスポートする事を強く推奨致します。

注：GUID ファイルによる方法以外にお客様がパスワードのリセットを行う方法はありません。GUID ファイルは大切に保管してください。

11. フリッカーが発生した場合の設定方法

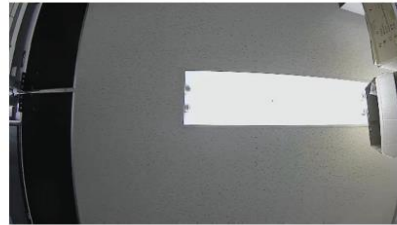
画面が波打つ症状(フリッカー現象)が発生した場合、次の手順の設定を行うことで改善できます。

※NVR の PoE ポートに直接接続している場合の設定方法です。

<フリッカー現象>



<通常>



画面 11-1

11.1 NVR の IP アドレスを確認

(1) 「メニュー」> 「設定」> 「ネットワーク」の「IPv4アドレス」を確認します



画面 11-2

11.2 ブラウザの操作

(1) PCをNVRの背面のLANポート（1つ独立しているポート）に接続します。



画面 11-3

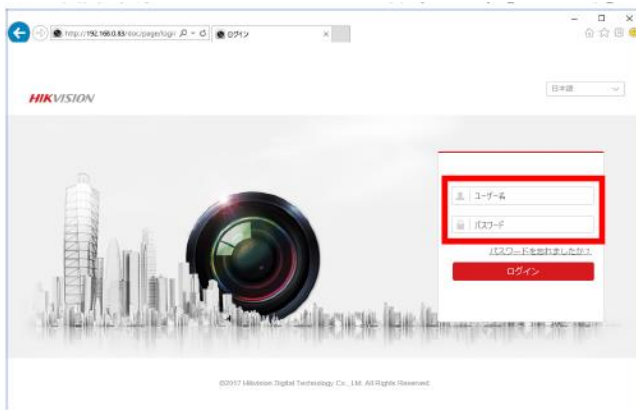
(2) Internet Explorerを起動し、アドレスバーにNVRのIPアドレスを入力しEnterを押します。

※PCのIPアドレスをNVRと同じセグメントに設定する必要があります。



画面 11-4

(3) ログイン画面が表示されるのでNVRの「ユーザー名(admin)」と「パスワード」を入力しログインします。



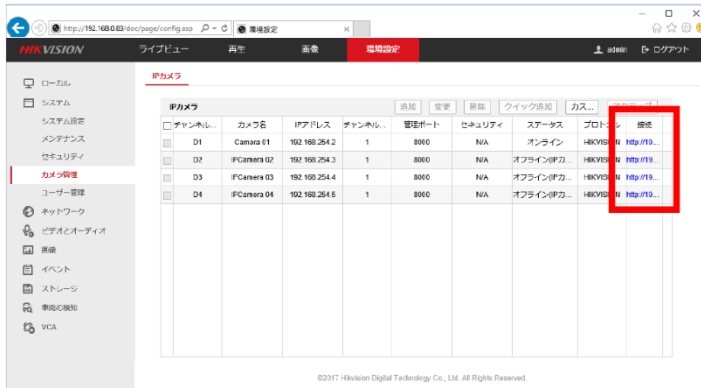
画面 11-5

(4) 「環境設定」>「ネットワーク」>「詳細設定」>「その他」をクリックし「バーチャルホスト有効にする」にチェックを入れ、保存をクリックします。



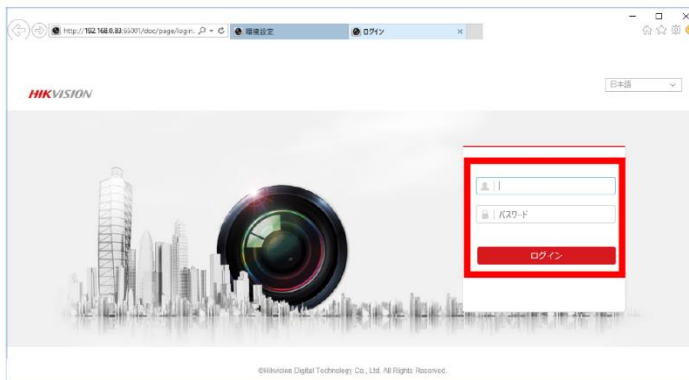
画面 11-6

(5) 「システム」>「カメラ管理」にて、フリッカー現象が発生しているカメラチャンネルの「接続」にある青文字の URL をクリックします。



画面 11-7

(6) 別タブにてカメラのログイン画面が表示されます。「ユーザー名(admin)」「パスワード」を入力してログインします。



画面 11-8

(7) 「システム」>「システム設定」の「モデル」にカメラの型番が表示されていることを確認します。



画面 11-9

(8) 「画像」>「ビデオ設定」>「ビデオ標準」の設定を「PAL」から「NTSC」に変更します。



画面 11-10

(9) 「PAL」から「NTSC」に変更した際に「機器をリブートしますか?」と表示されます。OK をクリックします。



画面 11-11

(10) カメラが再起動し NVR の映像が途切れます。映像が途切れたら PC のブラウザを閉じます。



(11) 起動したカメラ映像が NVR に表示されます。映像にフリッカー現象が発生していないことを確認します。

※複数のカメラにて発生している場合、(5)以降の手順を発生している全てのカメラに行う必要があります。

以上の操作にて設定終了です。

設定変更履歴記入欄：

日付	対象 (カメラ・レコーダ等型番、カメラ番号等を記入)	内容 (機器追加、パスワード変更、I Pアドレス、その他設定内容や変更内容を記入)



お問い合わせ先：



Security Design

株式会社セキュリティデザイン

〒107-0062

東京都港区南青山 7-1-5 コラム南青山

電話：03-5468-7071（代表）

FAX：03-5468-7079

<http://www.security-d.com/>（弊社ホームページ）

Copyright© 2017 株式会社セキュリティデザイン

・本書の内容は、改善のため予告なく変更することがあります。



- ・ 許可無く転載することを禁じます。